



日耳鼻医学会 FAX ニュース NO 176

平成23年5月24日 発行 (特)日本耳鼻咽喉科医学会 E-mail jimu@jenti.or.jp HP http://www.jenti.or.jp
〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館5F FAX 03-5524-5228 TEL 03-5524-5230

平成23年度定時代議員会・総会ご案内

日時:平成23年6月26日(日)午後1時~5時

会場:八重洲富士屋ホテル

会次第

第1部 代議員会・総会 (午後1時~4時) 3階 赤松の間

1. 講演 (午後1時~2時)

『国の債務危機をどう解決するか』

講師 東京経済大学名誉教授 富塚文太郎先生

2. 開会 物故会員に黙祷

3. 理事長挨拶

4. 報告 平成22年度庶務報告および事業報告

5. 議事

第1号議案 平成22年度収入支出決算について承認を求める件

第2号議案 平成23年度事業計画(案)について承認を求める件

第3号議案 平成23年度収入支出予算(案)について承認を求める件

6. 第36回臨床家フォーラム担当医会挨拶

群馬県耳鼻咽喉科医会会長 森 喜一

7. 第37回臨床家フォーラム担当挨拶

8. その他

第2部 懇親パーティ (午後4時~) 3階けやきの間

東日本大震災募金協力へのお礼

(特)日耳鼻医学会理事長 石山英一

3月11日に発生した東日本大震災で多大な被害を受けた耳鼻科診療所への支援の為に、皆様に募金をお願いを致しまして、4月に岩手県、宮城県、福島県等へ送金致しましたことはFAXニュース175号で既に報告致しましたが、その後も多くの募金を頂き、5月19日現在で予想を遙かに超える218件(医会を含む)、合計8,412,751円の善意が集まりました。既に義援金は5県に合計550万円を差し上げましたが、被害が少なかった言うことで青森と群馬より返金の申し出があり、有り難くお受けすることに致しました。これも併せて現在300万円以上の残金があり、この取り扱いについて5月22日の全理事会で協議して、被害甚大の東北3県その他、大きな余震があった長野県北部や福島原発事故で被害を受けた耳鼻科診療所がないか再度調べて、そこに送らせて頂くことに致しました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。なお、この募金はこれで終了させていただきますのでご了承下さい。

来年のフォーラムは九州で

4月17日、福岡市で行われた九州耳鼻咽喉科医会協議会で、日耳鼻医学会から要請のあった来年のフォーラムについて討議を行い、九州沖縄全体で引き受けることを了解した。その後の関係者の協議の結果、熊本市での開催が決定した。期日・会場などについては今後発表される見込み。

支払基金、レセプト突合・縦覧点検を延期

東日本大震災を受け、「被災地の業務遂行・行政措置対応を優先」

支払基金は4月8日、レセプトの突合点検・縦覧点検、医科電子点数表を参照した算定ルールチェック、振込請求書の一部改正および診療報酬の資金管理業務の一元化について、当面の間、実施を延期すると発表した。東日本大震災の発生に伴い、被災地における3月審査分の業務処理や診療報酬の支払いなどの業務遂行、また政府による被災者の一部負担金猶予・免除措置などへの対応を優先するため、延期した業務の開始時期については、関係団体と協議の上で決定する方針。

「眼科診療バス」被災地を巡回

大型ハリケーンによる被災地などで活躍した米国製の眼科診療バスが東日本大震災の災害現場で医療の一角をになっている。慶応大学医学部眼科学教室の坪田教授がマイアミ大の協力を得て1台を無償で借り受け、現在、岩手と宮城の両県で活動している。取り組みを支援する日本眼科医学会の高野会長は、自身もバスに同乗し、医療支援・訪問診療などを担うことが可能な診療バスについて「再び大きな災害が起きないとは言えない。高齢者を中心にニーズが高い事がわかった」とし、「いつか日本に常駐の診療バスを走らせたい」と国内での整備に前向きな考えを示した。(J.M. 5月11日)

【時のことば DMAT JMAT】

DMATは、災害派遣医療チームDisaster Medical Assistance Team の頭文字をとって略した呼称。災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チームと定義されており、医師と看護師と医師/看護職以外の職員で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期に活動できる機動性を持った専門的な訓練を受けた医療チームのこと。平成17年4月から発足

JMATは、日本医師会災害医療チームのこと。DMATが災害拠点病院や救命救急センターなどの施設の「超急性期災害医療活動」とすると、JMATは「急性期・亜急性期の活動」とも言える。平成22年3月に、医師会JMAT(Japan Medical Association Team)構想が提案され、その後体制が整った。

窓口負担と別に100円程度上乗せ徴収

厚労省検討

社会保障と税の一体改革で、厚労省の医療・介護改革の具体策が18日、明らかになった。受診時の窓口負担とは別に一定額の料金を上乗せ徴収する「定額負担」の導入を検討する。長期に高額な医療費を必要とする患者の負担軽減のため、財源を捻出する目的。民主党の「社会保障と税の抜本改革調査会」も同様の制度の導入を目指している。政府、民主党内では、すべての外来患者で100円程度の上乗せが浮上している。

厚労省は、医療の高度化に伴う医療費の増加で国民皆保険の維持は困難として、新たな財政措置も含めた制度改革は不可欠だと強調。新たな公費投入を検討し、国民健康保険の低所得者対策や財政基盤安定化を行う。一方で、高額治療を受ける患者の負担を軽減する高額療養費制度では、新たに治療が長期化した場合の支援の仕組みを設けるが、保険料や公費の負担を増やすことなく、別料金を徴収して外来患者に広く負担を求める。(5月19日 提供:共同通信社)



GlaxoSmithKline 生きる喜びを、もっと Do more, feel better, live longer

定量噴霧式アレルギー性鼻炎治療剤

処方せん医薬品(注意-医師等の処方せんにより使用すること) 薬価基準収載

アラミスト® 点鼻液27.5µg
56噴霧用

Allermist® 27.5µg 56 metered Nasal Spray フルチカゾンフランカルボン酸 エステル点鼻液

※「効能・効果」、「用法・用量」、「用法・用量に関連する使用上の注意」、「禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

製造販売元(輸入)

グラクソ・スミスクライン株式会社 グラクソ・スミスクラインの製品に関するお問い合わせ・資料請求先
TEL: 0120-561007(9:00~18:00/土日祝日および当社休業日を除く)
〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-6-15 GSKビル | FAX: 0120-561047(24時間受付)

2010.5